

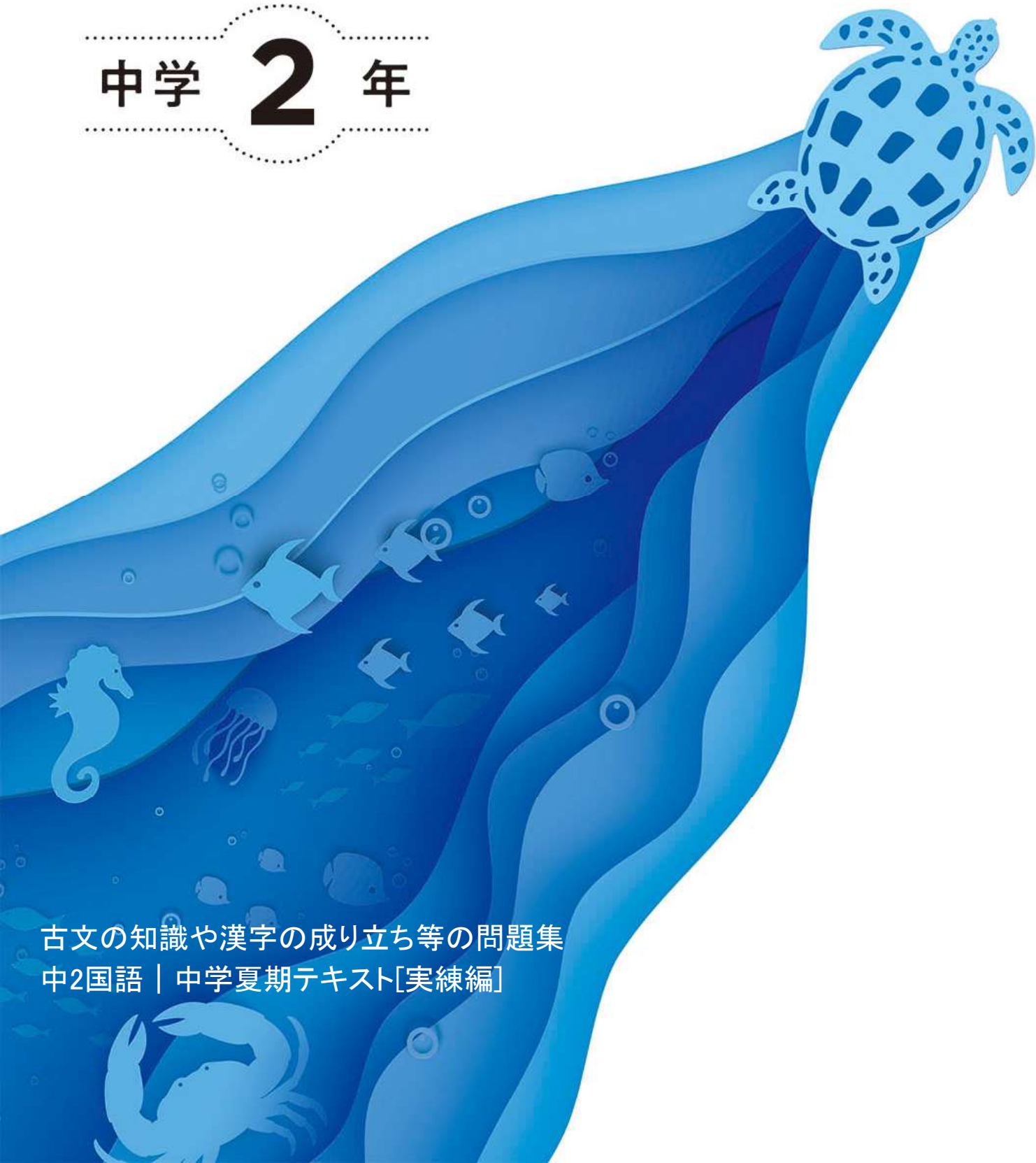
夏期テキスト

実練編

国語

中学 **2** 年

古文の知識や漢字の成り立ち等の問題集
中2国語 | 中学夏期テキスト[実練編]



第8講座

古典 — 古文の知識

学習日 月 日

基本問題

1 次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。

醍醐の大僧正実賢、餅をやきてくひけるに、きはめたる眠りの人にて、餅を持ちながら、ふたふたとねぶりけるに、まへに江次郎といふ格勤者のありけるが、僧正のねぶりてうなづくを、われにこの餅くへと気色あるぞと心得て、走りよりて手に持ちたる餅をとりてくひてけり。僧正おどろきてのち、「ここに持ちたりつる餅は」とたづねられければ、江次郎、「その餅は、はやくへと候ひつれば、たべ候ひぬ」とこたへけり。僧正、比興のことなりとて、諸人に語りてわらひけるとぞ。

〔古今著聞集〕より

(注) 醍醐の大僧正実賢 人名。醍醐寺にいた僧。

きはめたる眠りの人 すぐに居眠りを始めてしまう人。

ふたふたと とうとうと。

格勤者 僧正の身辺の雑役に従っていた侍。

気色あるぞ 合図をしているのだ。

はやくへと候ひつれば 早く食べよということでしたので。

比興のことなり 馬鹿げたことである。

問1 仮名遣い — 線①「まへに」を、現代仮名遣いに直して書きなさい。

()

問2 古語の意味 — 線②「おどろきて」は、ここではどのような意味ですか。

適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア びっくりして イ 目を覚まして

ウ 気がついて エ 腹を立てて

□

問3 主語 — 線③「たづねられければ」の主語を、古文中の言葉で答えなさい。

さい。

()

問4 内容理解 この古文の「江次郎」は、どうして餅を食べてしまったのですか。その理由を二十五字以内で書きなさい。

Grid for writing answer to Question 4.

2 次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。

道者の行は、善行・悪行、皆、思はくあり。人の量るところにあらず。

昔、恵心僧都、一日、庭前に草を食する鹿を、人をして打ち追はしむ。時に、ある人問うて云はく、「師、慈悲なきに似たり。草を惜しみて、畜生を悩ますか」。僧都の云はく、「我、もしこれを打たずんば、この鹿、人に馴れて、悪人に近づかん時、必ず殺されん。こ

らず。

演習問題

1 次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。

〔富山改〕

大臣あるときに、よる箏を弾き給ひける、よもすがら心に興ありて弾き給ふ間、暁方になりて、難き手のやむごとなきを取り出でて弾き給ひける時に、我が心にも、「いみじくめでたし」と思ひ給ひけるに、前の放出の隔子のあげられたる上に、物の光るやうに見えければ、「何の光るにかあらむ」と思ひ給ひて、和ら見給ひけるに、長け一尺ばかりなる天人どもの二三人ばかりありて、舞ふ光なりけり。大臣これを見て、「我がめでたき手を取り出でて箏を弾くを、天人の感じてくだりきて舞ふなりけり」と思ひ給ふ。あはれに貴く思ひ給ひけり。実にこれ、あさましくめでたきことなり。〔今昔物語集「より」

〔注〕 箏 琴の一種。 よもすがら 一晩中。 暁方 夜明け方になり。 難き手のやむ ことなきを取り出でて 難しい曲でとてもすばらしい曲を選び。 放出の隔子のあげられたる上に 離れの部屋の引き上げられた戸の上に。 何の光るにかあらむ 何が光ったのだろうか。 和ら 二そと。 長け一尺ばかりなる 二丈約三十センチほどの。 あはれに 二言いようもなく。 あさましく 二驚きあきれれるほど。

問1 古語の意味 線① 「いみじくめでたし」の意味として適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア さらに美しい イ たいそうすばらしい
ウ 不思議とたやすい エ 意味もなくありがたい

□

問2 仮名遣い 線② 「やうに」を、現代仮名遣いに直して書きなさい。

()

問3 係り結び 線③ 「何の光るにかあらむ」から、係りの助詞を抜き出しなさい。また、結びの語の活用形を漢字で書きなさい。

係りの助詞

()

活用形

問4 内容理解 線④ 「天人の感じてくだりきて」とありますが、天人は何に感動したと大臣は考えていますか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。
ア 仲間の天人の行動 イ 人々の手の美しさ
ウ 大臣の高貴な人柄 エ 大臣の見事な演奏

□

2 次の古文を読んで、後の問いに答えなさい。

〔智辯学園高〕

筑紫に、なにがしの押領使などいふやうなる者のありけるが、土大根をよろづにいみじき薬とて、朝ごとに二つづつ焼きて食ひけること、年久しくなりぬ。

あるとき、館のうちに人もなかりける隙をはかりて、敵襲ひ来たりて、囲み攻めけるに、館のうちに兵二人出でて来て、命を惜しまず戦ひて、皆追ひ返してけり。いと不思議におぼえて、「日ごろここにもし給ふとも見えぬ人々の、かく戦ひし給ふは、いかなる人ぞ。」と問ひければ、「年ごろ頼みて、朝な朝な召しつる土大根らに候ふ。」と言ひて、うせにけり。

深く信を致しぬれば、かかる徳もありけるにこそ。

〔徒然草 第六十八段「より」〕

〔注〕 筑紫 現在の九州地方。 押領使 社会を乱す者を取り締まる、諸国におかれた官職。

ものし給ふ 二 いらつしやる。 年ごろ 二 長年。

朝な朝な召しつる 二 毎朝お食べになる。

問1 仮名遣い — 線①「いふやう」を、現代仮名遣いに直して書きなさい。

()

問2 古語の意味 — 線②「いみじき薬」、⑥「うせにけり」の意味として適切なものをそれぞれ後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ②
- ア 苦い薬
 - イ 珍しい薬
 - ウ 高価な薬
 - エ よく効く薬

- ⑥
- ア 死んでしまった
 - イ 家に入ってしまった
 - ウ 消えてしまった
 - エ 黙ってしまった

問3 内容理解 — 線③「命を惜しまず戦ひて」とありますが、兵士たちがそのように戦った理由は何ですか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 報恩
- イ 忠義
- ウ 任務
- エ 謀反

問4 心情理解 — 線④「問ひけれ」とありますが、「問ひけれ(たずねた)」に込められている気持ちはどのようなものですか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 敵を追いかけてきてすっかり安心しきっている気持ち。
- イ みんなで力を合わせて戦いぬいた後の満足しきった気持ち。
- ウ 敵と味方とが入れ替わるのではないかと心配している気持ち。
- エ 自分を守ってくれた人の身の上をいぶかしがる気持ち。

問5 主語 — 線⑤「頼みて」の主語を、古文中の言葉で答えなさい。

()

問6 内容理解 — 線⑦「信を致し」とは、ここでは、誰が何をしたことですか。現代語で、三十字以内で書きなさい。

問7 現代語訳 — 線⑧「かかる徳もありけるにこそ」の現代語訳として、適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア このようなご利益があったのだ
- イ こうした金もつけができるのだ
- ウ こんな施しをしてほしいものだ
- エ こんなことはありそうなものだ

問8 内容理解・四字熟語 この古文の内容を四字熟語で表したときふさわしいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自業自得
- イ 弱肉強食
- ウ 右往左往
- エ 因果応報
- オ 悪戦苦闘

言語 1

漢字の成り立ち・部首

漢字の読み書き 次の——線の漢字に読み仮名を書き、片仮名は漢字に直しなさい。また、必要に応じて送り仮名をつけなさい。

- ① 書物に啓発される。
- ② イギリスの艦隊。
- ③ 師弟の関係。
- ④ 芸の真髄を見る。
- ⑤ 土や砂が堆積する。
- ⑥ 神社に詣でる。
- ⑦ 将来を囑望される。
- ⑧ 小舟で釣りをする。
- ⑨ 職権を濫用する。
- ⑩ 仮病を責める。
- ⑪ 平凡な作品。
- ⑫ 入学を申請する。
- ⑬ 一国のお殿様。
- ⑭ 値下げを交渉する。
- ⑮ 自然淘汰される。
- ⑯ トツゼンの雨。
- ⑰ チツジョを守る。
- ⑱ 風船がハレツする。
- ⑲ 名選手にアコガレル。
- ⑳ 保育の仕事にツク。
- ㉑ 酒屋をアキナウ。
- ㉒ セマイ路地。
- ㉓ マホウ使いの物語。
- ㉔ ダトウな判断をする。
- ㉕ 校庭のスミにある木。
- ㉖ 兄はゴウジヨウだ。
- ㉗ 自分をヒゲしない。
- ㉘ コイゴコロを抱く。
- ㉙ 毎年コウレイの祭り。
- ㉚ ヤナギの並木。

1 漢字の成り立ち 次の漢字と同じ成り立ちの漢字を後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 三
- ② 川
- ③ 庁
- ④ 男
- ア耳
- イ本
- ウ岩
- エ版

2 部首 次の漢字の部首の名前を、平仮名で書きなさい。

- ① 険 ()
- ② 悩 ()
- ③ 頼 ()
- ④ 困 ()
- ⑤ 疲 ()
- ⑥ 罰 ()
- ⑦ 盛 ()
- ⑧ 込 ()

3 部首 次のうち、他とは部首が異なる漢字を一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① ア渡
- ② ア福
- ③ ア徳
- ④ ア寝
- イ溶
- イ復
- イ衛
- イ害
- ウ濃
- ウ補
- ウ微
- ウ窮
- エ酒
- エ被
- エ律
- エ寒

言語 2 熟語の構成

漢字の読み書き

次の——線の漢字に読み仮名を書き、片仮名は漢字に直しなさい。また、必要に応じて送り仮名をつけなさい。

- ① 大都市の摩天楼。
- ② 反対意見を一蹴する。
- ③ 高僧の教え。
- ④ 番組を視聴する。
- ⑤ 炭が燃焼する。
- ⑥ 壁に絵を貼る。
- ⑦ 綱引きに参加する。
- ⑧ この小説は傑作だ。
- ⑨ 風景を撮影する。
- ⑩ 海藻を採る。
- ⑪ 要職に就ける。
- ⑫ 慶事を知らせる。
- ⑬ 炭坑を掘る。
- ⑭ 彼女は母の義妹だ。
- ⑮ うわさを又聞きする。
- ⑯ ダンガイ裁判を行う。
- ⑰ 父方のシンセキ。
- ⑱ 提案をキヤツカする。
- ⑲ ハンシン地方の天気。
- ⑳ 道路がカンボツする。
- ㉑ コドクに耐える。
- ㉒ 体がヤワラカイ。
- ㉓ 権利をシンガイする。
- ㉔ 河口近くのスイゴウ。
- ㉕ 誤りをテイセイする。
- ㉖ 気持ちガナエル。
- ㉗ キクの花が咲く。
- ㉘ 体力強化をジッセンする。
- ㉙ 胃液をブンピツする。
- ㉚ ソウシキに参列する。

1 熟語の構成 次の熟語の構成の説明に当たる熟語を後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 意味の似た漢字を並べたもの
 - ② 反対の意味の漢字を並べたもの
 - ③ 上の漢字が下の漢字を修飾するもの
 - ④ 下の漢字が上の漢字の目的・対象を示すもの
 - ⑤ 上の漢字と下の漢字が主語と述語の関係にあるもの
 - ⑥ 打ち消しの接頭語が付くもの
 - ⑦ 同じ漢字を重ねたもの
 - ⑧ 三字以上の熟語が省略されたもの
- ア 無限 イ 帰国 ウ 決定 エ 特急
オ 親友 カ 人造 キ 終始 ク 延々

⑤	①
<input type="text"/>	<input type="text"/>
⑥	②
<input type="text"/>	<input type="text"/>
⑦	③
<input type="text"/>	<input type="text"/>
⑧	④
<input type="text"/>	<input type="text"/>

2 熟語の構成 次の熟語と同じ構成の熟語を後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 幸福
 - ② 収支
 - ③ 消毒
 - ④ 私設
- ア 未刊 イ 寄港 ウ 均等 エ 熱湯
ア 回転 イ 誤報 ウ 不便 エ 発着
ア 帰宅 イ 骨折 ウ 少々 エ 未来
ア 停止 イ 腹痛 ウ 因果 エ 断熱

言語 3 同じ音・同じ訓をもつ漢字

漢字の読み書き 次の——線の漢字に読み仮名を書き、片仮名は漢字に直しなさい。また、必要に応じて送り仮名をつけなさい。

- ① 母音をはつきり言う。
- ② 連絡を断つ。
- ③ 大声で一喝する。
- ④ 規則が形骸化する。
- ⑤ 杯に酒を注ぐ。
- ⑥ 邸宅に招かれる。
- ⑦ 子供たちを引率する。
- ⑧ 猫の手も借りたい。
- ⑨ 聞くに堪えない。
- ⑩ 硬式テニスの選手。
- ⑪ 丈夫な肢体をもつ。
- ⑫ 謙讓語で話す。
- ⑬ 名高い俊才。
- ⑭ 内科の診察を受ける。
- ⑮ ごみが悪臭を放つ。
- ⑯ シッドが上昇する。
- ⑰ 物陰にヒソム。
- ⑱ 世界遺産のセックツ。
- ⑲ リンリ的な考え。
- ⑳ 判決をハキする。
- ㉑ ロウヒを控える。
- ㉒ 空き缶をツブス。
- ㉓ 計画をスイコウする。
- ㉔ ホタルを観察する。
- ㉕ スコヤカに成長する。
- ㉖ メンキヨを取得する。
- ㉗ ペンで書きナグル。
- ㉘ ジャマな物をしまつ。
- ㉙ ワザワイを退ける。
- ㉚ 友人をナグサメル。

1 同音異字 次の——線の片仮名を漢字に直しなさい。

- ① カン
 - A カン喜の踊り。
 - B 会員をカン誘する。
- ② コウ
 - A 技コウに優れた作品。
 - B 哲学を専コウする。

2 同訓異字 次の——線の片仮名を漢字に直しなさい。

- ① はかる
 - A 再起をハかる。
 - B 時間をハかる。
 - C 体重をハかる。
- ② つとめる
 - A 解決にツトめる。
 - B 会社をツトめる。
 - C 議長をツトめる。
- ③ おさめる
 - A 国をオサめる。
 - B 税金をオサめる。
 - C 学問をオサめる。

3 同音異義語 次の——線の片仮名を漢字に直しなさい。

- ① タイシヨウ
 - A タイシヨウ的な性格。
 - B 主婦がタイシヨウの商品。
 - C 左右タイシヨウの図形。
- ② カンシヨウ
 - A 名画をカンシヨウする。
 - B 名月をカンシヨウする。
 - C カンシヨウに浸る。

言語 4 送り仮名

漢字の読み書き

次の——線の漢字に読み仮名を書き、片仮名は漢字に直しなさい。また、必要に応じて送り仮名をつけなさい。

- ① 郊外に引つ越す。
- ② 美しい藤棚。
- ③ 雷鳴がとどろく。
- ④ 恩師が逝去する。
- ⑤ 沸点に達する。
- ⑥ 弔辞を読む。
- ⑦ 動きが鈍化する。
- ⑧ 日本最大の港湾都市。
- ⑨ 申し入れを承諾する。
- ⑩ 突如として雨が降る。
- ⑪ 過剰に表現する。
- ⑫ 租税を納める。
- ⑬ 彼は寛容な人だ。
- ⑭ 政府の諮問機関。
- ⑮ きゅうりを漬ける。
- ⑯ 味方をオウエンする。
- ⑰ コウズイを防ぐ。
- ⑱ 条約をテイケツする。
- ⑲ ホノオが舞い上がる。
- ⑳ 小鳥にエサを与える。
- ㉑ 決意を胸にヒメル。
- ㉒ タオルを水にヒタス。
- ㉓ 学校新聞のゲンコウ。
- ㉔ 高いミネに登る。
- ㉕ ジゴクに仏。
- ㉖ 早朝にシモが降りる。
- ㉗ 部屋に花をカザル。
- ㉘ 販売をイタクする。
- ㉙ カイゾクを撃退する。
- ㉚ 過去をコウカイする。

1 送り仮名 次のうち、送り仮名のつけ方の正しいもの一つずつ選び、記号で答えなさい。

- | | | | |
|--------|--------|---------|--------|
| ① さいわい | ア 幸 | ② いそがしい | ア 忙い |
| イ 幸い | ウ 幸わい | イ 忙しい | ウ 忙がしい |
| ③ こづつみ | ア 小包 | ④ うかべる | ア 浮る |
| イ 小包み | ウ 小包つみ | イ 浮べる | ウ 浮かべる |

① ② ③ ④

2 送り仮名 次の言葉の送り仮名を書きなさい。送り仮名がつかない場合は×を書きなさい。

- | | | | |
|---------|-----|--------|-----|
| ① こおる | — 凍 | ② とらえる | — 捕 |
| ③ こころざし | — 志 | ④ するどい | — 鋭 |

3 送り仮名 次の——線部を、漢字と送り仮名で書きなさい。

- ① 顔を赤らめてはじらう。
- ② 犯した罪をつぐなう。
- ③ 自分の席にすわる。
- ④ ドアを片手でおさえる。
- ⑤ いざというときにたのもしい。

言語 5 類義語・対義語

漢字の読み書き 次の——線の漢字に読み仮名を書き、片仮名は漢字に直しなさい。また、必要に応じて送り仮名をつけなさい。

- ① 悲哀を感じる曲。
- ② 肉を塊で買う。
- ③ 計画に支障を来す。
- ④ 暴力を廃絶する。
- ⑤ 校歌を斉唱する。
- ⑥ 体裁を取り繕う。
- ⑦ 革の上着を着る。
- ⑧ 野の花を手折る。
- ⑨ 大きな河川が流れる。
- ⑩ 福利厚生を活用。
- ⑪ 金貨を鑄造する。
- ⑫ 岩石を粉碎する。
- ⑬ 人質を救出する。
- ⑭ 公定歩合の引き下げ。
- ⑮ 相手を見損なう。
- ⑯ ケムリが立ち上る。
- ⑰ 座ぶとんをシク。
- ⑱ 作業がトドコオル。
- ⑲ 使用ヒンドが高い。
- ⑳ ネンレイを尋ねる。
- ㉑ ショウドウを抑える。
- ㉒ 空腹をガマンする。
- ㉓ 菓子を袋にツメル。
- ㉔ 細胞がゾウシヨクする。
- ㉕ 通信をボウジュする。
- ㉖ カミの毛を切る。
- ㉗ 危険物をアツカウ。
- ㉘ 危険物をアツカウ。
- ㉙ 親のカタキを取る。
- ㉚ 大魚をツル。
- ㉛ ウルシ塗りの食器。

1 類義語 次の言葉の類義語を後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 終了
- ア 完遂
- イ 完了
- ウ 終業
- エ 了承
- ② 待遇
- ア 待望
- イ 処置
- ウ 招待
- エ 処遇
- ③ 冷淡
- ア 薄情
- イ 冷静
- ウ 淡泊
- エ 軽薄

2 対義語 次の言葉の対義語になるように、□に当てはまる漢字を書きなさい。

- ① 悲観
- ② 退任
- ③ 人災
- ④ 加速
- ⑤ 多様
- ⑥ 偶然
- ⑦ 着陸
- ⑧ 合憲

3 対義語 次の言葉の対義語を、漢字二字で書きなさい。

- ① 失敗
- ② 困難
- ③ 期待
- ④ 感情
- ⑤ 集合
- ⑥ 攻撃
- ⑦ 需要
- ⑧ 特殊

言語 6 言葉の単位・文の組み立て・単語の分類

漢字の読み書き

次の——線の漢字に読み仮名を書き、片仮名は漢字に直しなさい。また、必要に応じて送り仮名をつけなさい。

- | | | | | | |
|---|------------|---|------------|---|------------|
| ① | 印象的な容貌。 | ② | 俗説を批判する。 | ③ | 権威を畏れる。 |
| ④ | 委員長に推薦する。 | ⑤ | 眉を寄せる。 | ⑥ | 暗礁に乗り上げる。 |
| ⑦ | 偉人の伝記を読む。 | ⑧ | 本の言葉を妄信する。 | ⑨ | 沼地が広がる。 |
| ⑩ | 金魚を鉢に移す。 | ⑪ | 飛行機に搭乗する。 | ⑫ | 我が身を犠牲にする。 |
| ⑬ | 疾風のように去る。 | ⑭ | 町が繁栄する。 | ⑮ | 屈強な肉体をもつ。 |
| ⑯ | 人権をヨウゴする。 | ⑰ | 注意をカンキする。 | ⑱ | ゆつくりとネムル。 |
| ⑲ | キンサで勝利する。 | ⑳ | 体をキタエル。 | ㉑ | 追及からノガレル。 |
| ㉒ | 機嫌をソコネル。 | ㉓ | ソボクな疑問をもつ。 | ㉔ | バンカンの思い。 |
| ㉕ | カロヤカに演奏する。 | ㉖ | ホラアナに隠れる。 | ㉗ | 真実を話すとチカウ。 |
| ㉘ | シヨウギで対戦する。 | ㉙ | 特技をヒロウする。 | ㉚ | 劇のイシヨウを着る。 |

1 文節・単語 次の各文を、例にならって文節に区切り、単語に——線を引きなさい。

例 図書館で本を借りる。

- ① 彼は私の大切な友人だ。
② 馬が小屋から牧場へ飛び出す。

2 文の成分 次の——線の文の成分を後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 彼女は自分の考えをはっきり私たちに告げた。
② 僕だって自分なりに将来のことを考えている。
③ 急いだが、約束の時間に間に合わなかった。

ア 主語 イ 述語 ウ 修飾語
エ 接続語 オ 独立語

① ② ③

3 文節と文節の関係 次の——線の文節と文節の関係を後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 私には兄と姉がいる。 ② 父が作ったカレーを食べる。
③ ラジオをつけてみる。 ④ ごく最近起こった事件だ。

ア 主語・述語の関係 イ 修飾・被修飾の関係
ウ 並立の関係 エ 補助の関係

① ② ③ ④

4 単語の分類 次の文中から付属語で活用するものを一つ選び、記号で答えなさい。

今日はいつもより早く出発するぞうだ。

ア イ ウ エ オ カ キ

ヒント

3 修飾・被修飾の関係：「何を——どうする」「どのような——何」などを表す関係。補助の関係：下の文節が上の文節に補助的な意味を付け加えている関係。

4 文節は、先頭に自立語があり、一文節につき自立語は一つである。

国語 7 自立語

漢字の読み書き 次の——線の漢字に読み仮名を書き、片仮名は漢字に直しなさい。また、必要に応じて送り仮名をつけなさい。

- ① 石碑に名を刻む。()
- ② 虚勢を張る。()
- ③ 黄河の流れ。()
- ④ 古墳を発掘する。()
- ⑤ 麦芽糖を加える。()
- ⑥ なごやかな雰囲気。()
- ⑦ 祖父が喜寿を迎える。()
- ⑧ 旅の支度をする。()
- ⑨ 井戸を掘る。()
- ⑩ 伴侶を得る。()
- ⑪ 空欄に書き込む。()
- ⑫ 船が沖に出る。()
- ⑬ 教えを乞う。()
- ⑭ 懲罰を与える。()
- ⑮ 肝に銘じる。()
- ⑯ そよ風がフク。()
- ⑰ いもをニル。()
- ⑱ 要求をキヨヒする。()
- ⑲ 鮮やかなシキサイ。()
- ⑳ ネライを定める。()
- ㉑ カラ揚げを食べる。()
- ㉒ 子供が飛びハネル。()
- ㉓ 会談をコバム。()
- ㉔ ジンソクに届ける。()
- ㉕ 工夫をコラス。()
- ㉖ 風邪のシヨウジョウ。()
- ㉗ タミの声を反映する。()
- ㉘ オクビヨウな気質。()
- ㉙ 非礼をアヤマル。()
- ㉚ 車がジヨコウする。()

- 1 自立語 次の文中から、自立語をすべてそのままの形で抜き出しなさい。
 ・予定より早い時間に着いた。

- 2 品詞 次の——線の品詞名を、漢字で書きなさい。

- ① 美術館にピカソの絵がある。
- ② もし晴れたら、山に行こう。
- ③ さあ、いよいよ決勝戦だ。
- ④ だから、私は反対したのだ。
- ⑤ この木はさるすべりという。

- 3 副詞 次の——線の副詞の種類を後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 会いに来てくれて、とてもうれしかった。
- ② どうして約束を守らなかったのか。
- ③ ゆっくり渡れば怖くないだろう。

ア 状態の副詞 イ 程度の副詞 ウ 呼応の副詞

①

②

③

ヒント

1 自立語：自立語とは、単独で文節を作ることができる単語。一文節に必ず一つある。
 2 連体詞：連体詞とは、体言だけを修飾する単語。
 3 副詞：副詞とは、主に用言を修飾する単語。

言語 8 用言

漢字の読み書き 次の——線の漢字に読み仮名を書き、片仮名は漢字に直しなさい。また、必要に応じて送り仮名をつけなさい。

- ① 躍動感のある写真。
- ② 天女の伝説。
- ③ 雑草が茂る。
- ④ 篤実な人柄。
- ⑤ 機敏に動く。
- ⑥ シヤツが擦り切れる。
- ⑦ 準備が調う。
- ⑧ 試合で惜敗する。
- ⑨ 食物連鎖の頂点。
- ⑩ 盆踊りを催す。
- ⑪ 機械を制御する。
- ⑫ 宿屋の亭主。
- ⑬ 敵に隙を見せない。
- ⑭ 壇上から話す。
- ⑮ 山頂に到達する。
- ⑯ 新しいカドデを祝う。
- ⑰ 父はカモクな人だ。
- ⑱ 人形をアヤツル。
- ⑲ 流木がタダヨウ。
- ⑳ キリが立ちこめる。
- ㉑ 悪口を聞いてオコル。
- ㉒ アワイ色調の絵。
- ㉓ 上着をヌグ。
- ㉔ ガケつぶちに立つ。
- ㉕ 間に紙をハサム。
- ㉖ 本選出場がアヤウイ。
- ㉗ カキネを越える。
- ㉘ モチつきをする。
- ㉙ フウトウに入れる。
- ㉚ ナメラカな手触り。

1 動詞 次の——線部の動詞のⅠ…活用の種類と、Ⅱ…活用形を書きなさい。

- ① 彼なら教室で君を待っているよ。
- ② 寝る間も惜しんで勉強をする。
- ③ 大田おおたさんは用事があるので来ないそうだ。

- ① () Ⅰ () Ⅱ ()
- ② () Ⅰ () Ⅱ ()
- ③ () Ⅰ () Ⅱ ()

2 形容詞 次の——線部の形容詞の活用形を後から一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ① 空がだんだん明るくなる。
- ② 寒ければ暖房を入れてください。
- ③ 熱いスープを飲む。
- ④ 今年のお年玉は少なからう。

- ア 未然形 イ 連用形 ウ 終止形 エ 連体形 オ 假定形
- ①
- ②
- ③
- ④

3 形容動詞 次の文の形容動詞に——線を引き、活用形を書きなさい。

- ① 今日のテストは思ったより簡単だった。
- ② 陽気な叔父は皆から好かれている。

ヒント

1 動詞：動詞の活用の種類は、「ナイ」を付けて未然形にして見分ける。
例「書かナイ」（ア段なので五段活用）・「見ナイ」（イ段なので上一段活用）
「答えナイ」（エ段なので下一段活用）

弊社サンプルをご覧いただき、
ありがとうございました。



紙面サンプルは ここまでです！

Bunri Teachers' Site へのご登録で、
全ページ見本*と目次をご覧いただけます。

※一部教材を除く

会員登録はこちら



Bunri Teachers' Site とは？

株式会社文理が運営する、塾・学校の先生方のための情報サイトです。

文理の教材紹介



デジタルサービスや
テストのお申込み



教育情報の発信



オンラインセミナー
のお知らせ

